

▶▶ PS3

PLAYSTATION

Report No.428

【レポート ナンバー ヨンニイハチ】

渋谷封鎖事件に関する電撃調査報告

428

封鎖された渋谷で

TM

▶▶ PSP



動き出すそれぞれの人生——

チュンソフトの最新サウンドノベルが満を持してPS3&PSPに登場

『かまいたちの夜』や『街』を生み出したチュンソフトが手がけるサウンドノベルの最高峰、『428 ～封鎖された渋谷で～』。Wiiで発売され、ユーザーから高く評価されたこの作品が、満を持してPSP&PS3に登場！ そこで本特集で

は、初めて本作の世界観に触れるユーザーのために、キャラクターやシステムをわかりやすく解説。このガイドブックを読めば、『428』が120%おもしろくなること間違いなしだ！



交錯する人々の運命——

428 封鎖された渋谷で



加速する物語——



428

封鎖された渋谷で

渋谷。それは無数の人生が交差する場所——。本作はある誘拐事件をきっかけに、さまざまな人間のドラマが幾重にも重なり、やがて1つの物語になっていくサウンドノベル。ここでは、そんな本作の見どころ&世界観を徹底解説する！



428

封鎖された渋谷で

PS3版とPSP版 購入するならどっち?



フルHDによる ハイクオリティ映像を約束

PS3版の最大の魅力は、これまで以上にハイクオリティなグラフィック&サウンドにより、臨場感満点のプレイを楽しめること。HDMI端子を用いてPS3本体をハイビジョンテレビに接続すれば、より鮮明で解像度の高いフルHD画

像でゲームをプレイ可能だ。もちろん音声や効果音も、リアルに再現されている(5.1chサラウンド対応)。なお、PS3版は本体の「トロフィー機能」にも対応しているの、やり込んでトロフィーを集めるといった楽しみ方も可能だ!!



PS3版のメリット

- ★ 大画面による迫力の演出を楽しめる
- ★ 5.1chサラウンド環境があれば臨場感満点のサウンドを楽しめる

DATE ●発売日：9月3日
●開発：チュンソフト／発売：スパイク
●ジャンル：サウンドノベル ●価格：7,140 (税込)



いつでもどこでも プレイできるのが魅力

PS3版よりも少し遅れて発売されるPSP版。このPSP版の見どころは、なんといってもどこでも好きな場所でプレイできる手軽さだろう。リラックスした体勢で遊べるのももちろん、渋谷の街まで行って、舞台となった場面をゲームをブ

レイしながら探してみるなんて遊び方もアリかも? また、もう一つのポイントは価格の安さ。PS3版が¥7,140なのに対してPSP版は¥5,040となっている。お財布への優しさを踏まえるなら、PSP版を買うのがオススメかも!?



PSP版のメリット

- ★ いつでもどこでも場所を選ばずにプレイできる
- ★ PS3版に比べると価格が安い

DATE ●発売日：9月17日
●開発：チュンソフト／発売：スパイク
●ジャンル：サウンドノベル ●価格：5,040 (税込)



音にもこだわるなら 「5.1ch」は必須!

PS3版は、リアルで迫力のあるサウンドでゲームを楽しめる「5.1chサラウンド」に対応している。この環境があれば音楽を立体的に体感することができ、ゲームの臨場感が何倍にも増すこと間違いなし! 本作の物語を100%の環境で楽しみたいという人は、この機会にぜひ、5.1chの周辺機器を買い揃えてみよう。



←5.1ch対応のヘッドフォンでプレイすると、ゲームの臨場感がグンと上がるはずだ。

CHARACTER

ここからは、運命の4月28日に渋谷に居合わせることになる本作のメインキャラクターたちを紹介する。ゲームの序盤に操作できるのは亜智と加納の2人で、その後、大沢、御法川、タマの3人が主人公として加わる。また、さらにゲームを進めると、意外なキャラクターが主人公になることも……!?



同僚

パートナー

兄妹

親子

取材

協力

雇い主

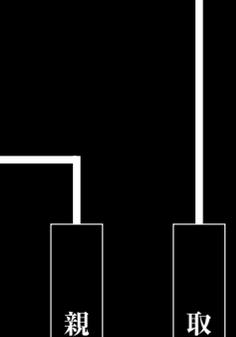
あこがれ

追う



逃亡の協力

なぜかひとみを狙う



人物相関図
 複数の物語が複雑に絡まっていく本作では、多彩なキャラクターが登場して物語を盛り上げることになる。まるで無関係なように見えるキャラ同士に意外な繋がりがあがるのも本作のおもしろさの一つで、とくに主人公の1人・御法川は多くのキャラクターと関わることになる。

協力

身代金の受け渡し

取材

親子

仕事仲間



誘拐

双子



友達



親子



警護

遠藤亜智

* [えんどう あち]

道玄坂の小さな電気店「遠藤電気店」の長男・遠藤亜智。「困っている人がいたら最後まで助ける」という約束を守るため、ひとみを連れて逃走劇を続けていく。しかし、そんななか、彼自身が事件の関係者だったということが発覚して!?



↑ 亜智は、ひとみのやり取りを通じて、自分が見過ぎてきた過去と向き合うことになる。

◀ 強さと優しさを兼ね備えた亜智。カリスマ性は高く、彼を慕っている人物も多い。

ACHI'S KEY WORD



KOK

◀ かつて亜智が仲間とともに結成したチーム。亜智が脱退したあとは組織が荒れ不良集団となってしまう。

妹との約束

→ “困っている人を助ける”という約束を妹と交わす亜智。結果、彼は愛着のある渋谷でゴミ拾いをすることに。



◀ 妹との約束を果たすため、KOKを一方向的に抜けた亜智。新リーダーとなった進は、KOKをまとめあげることができずに苦悩する。

↓ 拳銃を持った男に追われるひとみの手を引き、逃げる亜智。果たして2人は逃げ切れるのか?

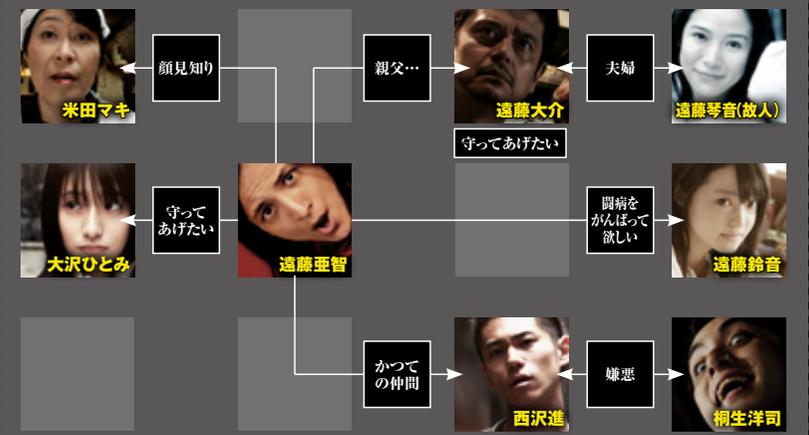
↓ 誘拐された姉の身代金の受け渡しをするはずだったひとみ。彼女自身が命を狙われる理由とは……?



亜智を取り巻く

人間関係をチェック!

かつて妹と交わした約束を果たすため、ひとみを守ろうとする亜智。しかし、そんな彼の行く手を阻むものが……。





加納慎也

* [かのう しんや]

渋谷署刑事課に所属する新米刑事。同僚の笹山と誘拐事件の身代金受け渡し現場の見張りをしていたところ、犯人が身代金を持って逃走。彼は行く手を追うことになる。また、そんな彼にはもう1つ、個人的な懸念が……。恋人・留美の父親である静夫が上京し、面会を求めているのだ！ はたして彼は静夫を説得して、留美との交際を認めもらえるのか!?



↑4月28日。ひとみの警護に当たったことが、彼の運命を大きく変えることになるのだった。

←亜智の物語が逃走劇であるのに対し、加納の物語は犯人の追跡がメインとなる。

KANO's key word

デカの心得 その12
常に最悪の状況を
想定して行動せよ

デカ魂メモ

←先輩の建野が命がけで人質を助け出す姿を目の当たりにした加納。それ以来、彼は建野の名言をメモしている。

恋人との交際

→恋人・留美の父親である静夫は、元・刑事。現場を知っているだけに、危険な加納の仕事は快く思っていない。



↑加納は捜査の途中から米国大使館の保安課員・ジャックとコンビを組むことになる。最初は折りが合わない2人だったが……。

→幾重にも散りばめられた犯人の罠に翻弄されていく加納。

↓熾烈を極めていく犯人グループとの戦い。別行動を取っていた同僚の笹山も犯人の1人に刺されて……。



加納を取り巻く

人間関係をチェック!

“犯人グループ”と“恋人の父親”という2つの悩みを抱える加納。はたして彼は、2つの“事件”を解決できるのか!?





御法川実

★ [みのりかわ] のみる

元・中央新聞社の記者で、現在はフリーのライターをしている御法川。彼は旧知であるヘブン出版の社長・頭山のピンチを救うため、まだ完成していない雑誌「噂の大将」の記

事を1日で作りあげることになる。そこで彼は渋谷中を駆け巡り、さまざまな取材を行うのだが、いつしか彼は渋谷はるか世界中を巻き込む事件の中に飛び込むことになり……!?



↑ 大衆誌「噂の大将」の来月号を完成させ、倒産の危機にあるヘブン出版を救え!

← 御法川はすべてのキャラクターの物語にかかわる狂言回しの役割になっている。

MINORIKAWA's key word



噂の大将

← ヘブン出版の看板雑誌。社運をかけてスクラッチカードをつけたが、すべて透けているというミスをしてしまった。

取材



→ 御法川は1日で5本ものインタビューをする。そのため、そのなかにはほかの主人公の物語に登場する人物も。



↑↑ 「3年B組金八先生」からのスピンオフとなる御法川。ファインダ「マイム」のメンバー。



← タクシードライバー。君塚の絶妙なやり取りも!

御法川を取り巻く

人間関係をチェック!

旧知の頭山や後輩の千晶との交流がメインの御法川。ほかにも彼は取材を通じて、さまざまな人間と出会うことになる。





大沢賢治★【おおさわ けんじ】

大越製薬の研究所長で、ウイルス研究の第一人者・大沢。彼は娘のマリアが誘拐されて苦悩していたが、さらに身代金の受け渡しに向かったもう1人の娘・ひとみまで行方知らずになり、絶望の淵に落とされることに。また、時を同じくして、彼のもとに差出人不明のメールが届く。それは機密であったはずの抗ウイルス剤の情報が漏れたことを示すもので……。



↑自宅から誘拐犯の電話を待ち続ける大沢。マリアは無事なのか？



←機密であったはずの抗ウイルス剤を使った臨床実験がどこかで行われている……？

OSAWA's key word



大越製薬

←大沢はウイルス研究所の所長。研究には莫大な資金が必要だが、上司の牧野がバックアップしている。

家族

→自分の感情を表に出すことに恐怖感を抱く大沢。そのため、感情を引き出させる子供たちと距離を取っている。



→大沢のストーリーは、ほぼ彼の家「大沢邸」で進行。斬新なカメラワークが取り入れられており、ほかの物語とは異彩を放っている。



↑大沢がウイルスを研究していることと、マリアが誘拐されたことの間には、何かしらの関係性があるのだろうか……!?



↑大沢は過去の出来事がきっかけで、家族と接するのが苦手になってしまった。

大沢を取り巻く人間関係をチェック!

ほとんど家を出ない大沢と繋がりがあるのは、彼の家族と警察関係者。しかし、その関係は予想以上にドロドロしている。





タマ

“タマ”の正体は、雑貨屋で偶然見かけたネックレスが目に留まったため、それを手に入れるためにアルバイトを始めた女の子。渋谷の駅前で「パーニング・ハンマー」というダ

イエット飲料の支給品を配っていたが、着ぐるみが壊れて脱げなくなってしまい、そのままの格好で行動することになってしまう。また、彼女はある秘密を隠し持っていて……!?



↑かわいらしい姿としぐさ。中に入っているのはどのような女性なのだろうか……!?

↓少女は「大日本ヘルシー」の柳下に誘われて、着ぐるみのアルバイトをすることに。

TAMA's key word

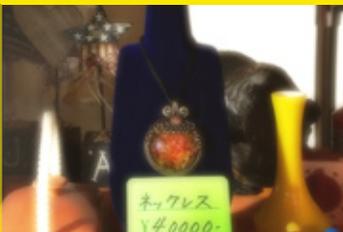
着ぐるみ



←「パーニング・ハンマー」試供用の着ぐるみ。背中のチャックが壊れてしまったため、脱げないでいる。

ネックレス

→タマがセンター街で見つけた赤いネックレス。買いたいが所持金のなかった彼女は、アルバイトをすることに。



↑ダメ人間・柳下のせいで次々にハプニングに巻き込まれていくタマ。バイト代をしっかりともらえることはできるのか?



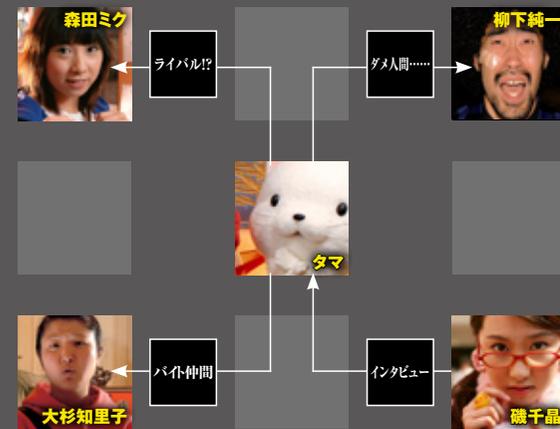
←格闘チャンピオンのミクに1対1の勝負で勝つなど、謎のポテンシャルを秘めたタマ。はたして彼女の正体は、いったい誰なのだろうか……。



→コミカルな内容で進んでいくタマのストーリー。登場するキャラクターも濃い人ばかりだ。

タマを取り巻く人間関係をチェック!

タマを取り囲むのはアルバイト関係の愉快的仲間たち。彼女の正体がわかれば、意外な人間関係が判明するかも……!?



主人公5人以外の魅力的なキャラもピックアップ!!

渋谷での群像劇を描く本作。前のページで紹介した5人の主人公以外にも個性的なキャラクターが多数登場し、物語を盛り上げる。ここではそんなキャラクターのなかから特にインパクトの強い人物たちを紹介していこう。



命を狙われる少女
大沢ひとみ

↑大沢の娘で、誘拐された双子の姉・マリアの身代金の立て替えを引き受ける。マリアとともにミスキャンパスに選ばれるほどの美少女で、おしとやかな性格だ。




森田ミク

会員制のコスプレ格闘ショー「BRIDE」のチャンピオン。また『益裁』のチャンピオンでもある。



君塚八郎

タクシードライバー。なぜか、ピンチの御法川の前に現れては彼を窮地から救ってくれる。



柳下純一

↑大日本ヘルシーの社長で、海外からアヤしい商品を買付けしては販売を行っている。しかし、商売が成功した例はほとんどない模様？



上杉彩矢

ミュージシャン。若者から絶大な人気を誇っているほか、大沢も彼女の曲をよく聴いている。




腕利きのCIA捜査員
ジャック・スタンリー

↑捜査中の加納の前に、突如として現れるCIA捜査官。クールな現実主義者で、加納とは何度も衝突することになる。



幼き少女工作員
カナン

↑中東出身の工作員で、幼いながら数々の修羅場を潜り抜けてきた少女。友人のマリアを救うため、日本にやって来る。



豪華スタッフの参加するボーナスシナリオに注目

鈴音編

我孫子武丸シナリオ

重智の妹・鈴音のストーリー。渋谷中央病院に入院している鈴音はある少年と出会い、交流を深めていく。しかし、鈴音の心臓病が進行して容態が悪化してしまい……。




↑↑ドナーが見つからず徐々に悪化していく鈴音の病氣。そんなとき、病院で鈴音と仲よくなった少年・拓也はある1つの決断をする。

カナン編

TYPE-MOONシナリオ

少女工作員・カナンの過去が描かれるシナリオ。中東で輸送されている兵器を奪取するため、カナンは相棒のシャムとともに列車に潜入するが、そこには驚くべきワナが……!?




↑↑カナンの隠された能力が判明するシナリオ。実写ではなくアニメ絵で展開し、声優によるボイスが入っているのが最大の特徴になっている。

SYSTEM

サウンドノベルである本作は、基本的に文章を読み進めたり、途中の選択肢を選ぶことで物語が進行していく。ただし、複数の主人公が存在し、それぞれが密接にかかわってくるため、各主人公を切り替えながら物語を進めて行くことに。物語は5分刻みで区切られており、その様子はタイムチャート画面で確認することができる。



1 選択肢 本作に登場する選択肢は別の主人公の人生すら左右する!

本作では、通常のサウンドノベルと同様に選択肢の選び方によってその後の展開が変化する。ただし、複数の主人公の物語が密接に交錯していく本作では、ある主人公の選択肢の選び方によって別の主人公の人生を変えてしまうことも。つまり、その主人公にとっては何でもないような選択肢でも、他の主人公にとってはその選択が命にかかわるもののようなこともある。パズルのように入り組んだ物語を、キミ自身の手でハッピーエンドに導こう!



2 BAD END 思わず笑ってしまうような結末も!?

間違った行動を取ると本筋からは外れたバッドエンドに行き着く。バッドではあるが、なかには凝った演出のものも多く用意されている。ぜひコンプリートを目指してみよう!



バッドエンド後はヒントを参照できる。

ヒント
へブン出版に急行するも、時すでに遅し。あと5分早く着いていれば……。御法川の到着を遅らせたのは、言うまでもなく加納である。なぜ加納がタクシーに乗ろうとしたのかは、加納の11:10で明らかになる。

選択肢を選ぶことで主人公のその後の行動が変化。これは従来のサウンドノベルと同じ。

選択肢を選んだ主人公の行動を受けて、その他の主人公の人生も変化する!

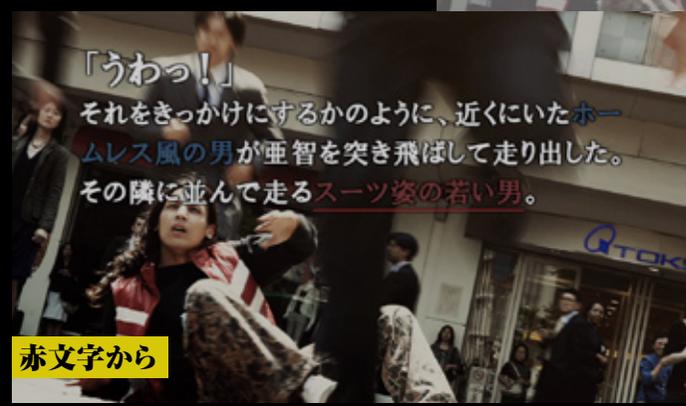
バッドエンドは犯人に殺されてしまったものから、田舎で農業を始めるといったものまで、じつにバラエティ豊かなものが存在する。

3 JUMP 別の主人公の物語へ移動

複数の物語が交錯する本作。それぞれの主人公がすれ違ったときや、物語の文章中に別の主人公の名前が出てきたとき、現在選んでいる主人公からその主人公の物語へと飛ぶことができる。本作では物語中に立ち入り禁止を意味する「KEEP OUT」が表示されることがあるが、これも「JUMP」で解除可能だ。



JUMP画面。ここから物語の移動ができる。移動の条件を満たしていない場合は×じるして表示される。



赤文字から

主人公同士が会ったときなど、物語が交錯したときに文章中に赤文字があれば、主人公から別の主人公へのジャンプが可能。

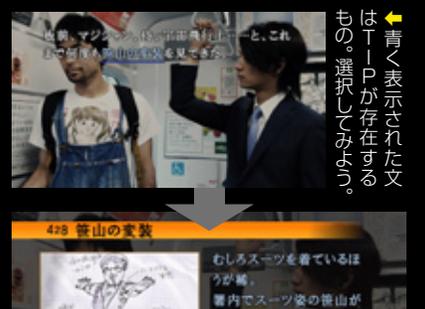


別の主人公へジャンプ

JUMPに成功すれば別の主人公のストーリーへ移動できる。これで新たな物語への道が開ける?

4 TIP 物語中のキーワードを解説してくれる

ストーリーの文章のなかには青く表示された単語があり、この単語を選択することで解説「TIP」を参照できる。この「TIP」はゲーム中の用語を解説するものから、現実の用語を解説するものまでさまざま。なかには動画や画像付きで用語を解説してくれることもあるので、青い文字を見つけたらしっかりチェックしてみよう。

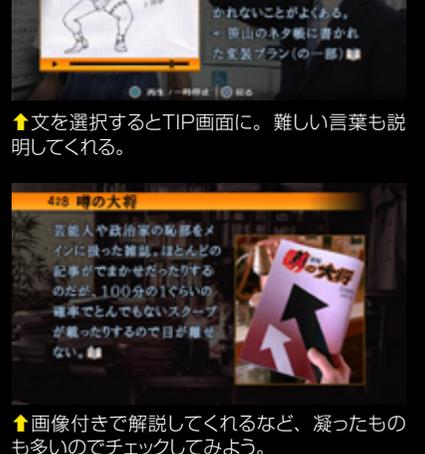


青く表示された文はTIPが存在するもの。選択してみよう。

選択しないでも物語を進める事は可能

確かに、そう簡単にアメリカの研究所に移れるとは思ってなかった。その理由は加納の発見した抗ウイルス剤にあった。ウーア・ウイルスが発見されてからというもの、世界中の感染症研究機関が極秘にワクチン開発を含む研究に着手するようになった。

TIPを見なくても物語を進行させることは可能。そのため、ゲームを妨げることはない。



文を選択するとTIP画面に。難しい言葉も説明してくれる。

画像付きで解説してくれるなど、凝ったものも多いのでチェックしてみよう。

Point TIP内にJUMPがあることも!

TIPの内容はさまざまだが、そのなかには主人公について触れているものもある。その文字が赤ければJUMPとして利用することも、もちろん可能。隠されたJUMPを探し出そう!



隠されたJUMPを探せ

428 溜め息
がっかりしたとき、ストレスを感じたとき、失意したときなどは出る。大きなお金をしたときにも出る。金は出せず、溜め息ばかりが出る……そんな状態の男が、御法川東のそばにいた。

TIPのなかに赤文字を発見できれば……。



JUMPで別の主人公の物語へ移動可能!



渋谷観光案内

実在の渋谷をロケ地として使用している「428」。ここではゲーム中に出てくるシーンが、渋谷のどこに位置するかを解説！ぜひ記事を読んで、実際に舞台を訪れてみよう！



ハチ公前

ひとみが身代金の立て替えのために立っていた場所や、千晶がタマにインタビューを行った場所がハチ公前。このハチ公の銅像は1934年に建てられたもので、渋谷での待ち合わせによく利用されている。



待ち合わせの代名詞とも言える場所。携帯電話が普及した現在も、週末は待ち合わせをしている人であふれ返っている。

ACCESS

駅を降りてすぐ!

JR渋谷駅のハチ公口から出たところにある広場がハチ公前。現在はハチ公像と並んで東急「5000系」車両のモニュメントも目印となっている。



道玄坂

亜智の実家である「遠藤電器店」や、彼となじみのそば屋「どうげん庵」がある場所。ちなみに「どうげん庵」は実際にあるお店の名前ではなく、宮益坂にある「釜あげうどん澤乃井」というお店がモデルとなっている。



◀亜智の家は道玄坂にあるという設定だが、もちろん「遠藤電器店」は実在しない。



◀亜智とひとみはマリアの誘拐犯の一人タリクの指定で道玄坂へとやって来ることになる。ちなみに「どうげん庵」は、道玄坂を上りきったところにあるお店だ。

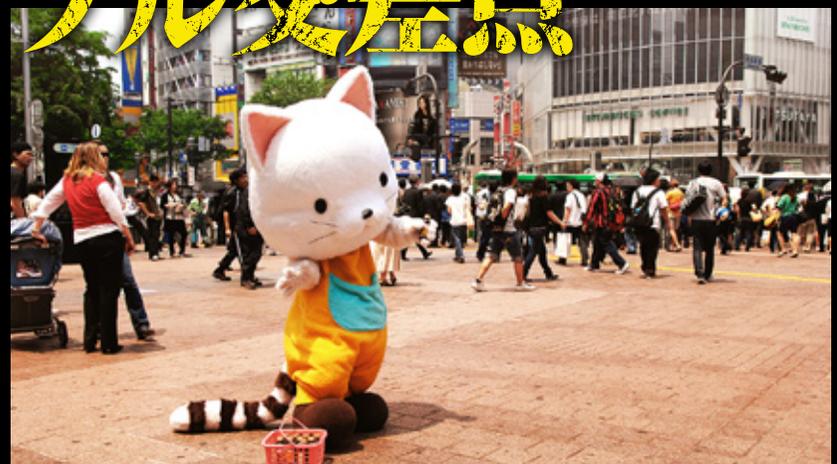
ACCESS

傾斜のある坂道

渋谷駅の西にある109の左側から続く、傾斜がきつい坂道が道玄坂。左手側には商業施設が立ち並んでおり、右手側はホテル街となっている。

スクランブル交差点

タマが「バーニング・ハンマー」の支給品を配っていたのがスクランブル交差点。駅とセンター街をつなぐ交差点のため、とにかく人通りが多い。同時に多数の人が四方から移動する様は、この交差点ならではの景観で圧巻だ。



ACCESS

大型ビジョンが目じるし!

ハチ公前からセンター街の方向へ歩いた先にある4方向の交差点。目の前に大型ビジョンがあるので、それを目じるしにするといいたろう。



↑これだけ人がいるのに、まったく試品を受け取ってもらえないタマは要領が悪い?

◀こちらが全景。センター街へ向かう人と駅に向かう人でごった返っている。

渋谷観光案内 渋谷署

加納や笹山が勤めている警察署で、本編では加納が手違いで亜智を逮捕したときに見ることができる。渋谷駅東口から徒歩2分の位置にあるが、ここは観光地ではないので、冷やかしては行かないように……。



↑事件などに巻き込まれない限り、あまりお世話にはなりたくない場所である。

↑加納は亜智にカツ丼をわざわざしたが、物で釣ったと思われるため、本来は行わない。



ACCESS

東口を降りてすぐ!

西口に存在するハチ公像とは逆の、東口近辺にある。ただし、困ったことがあったら警察署より交番に行こう。



明治通り

ACCESS

東口から交差点へ!

江東区の夢の島から港区の南麻布までをつなぐ通りで、駅の東口交差点から歩くことができる。交差点に標識があるのでそれを目印にしよう。



犯人グループの1人であるタリクが存在する。宮下公園から明治通りを陸橋から身代金を落下させ、別の犯人を超えて架かっている陸橋なので、ぜひ受け渡しを行った場所は、明治通りを訪れてみるといいだろう。

おまけ 渋谷以外のロケ地も!

渋谷を舞台とした本作だが、それ以外の場所で撮影している場所も少なからず存在する。ここではそんな舞台裏となるポイントを2カ所紹介! 近くに行く機会があったら、ぜひ訪れてみよう。

ロケ地は恵比寿の「銀座」というお店!

喫茶ロートレック

渋谷の駅前にあるという設定の「喫茶ロートレック」。ここは、実際には隣の恵比寿にある「銀座」という名前のお店となっている。ちなみに、このお店のシーンには「エキストラキャンペーン」に選ばれた人が撮影に参加している。



↑本編では、御法川や加納の恋人である留美が利用していた。



ロケ地は鎌倉の旧華頂宮廷

大沢邸

“渋谷にある大きな屋敷”という設定の大沢邸は、鎌倉にある旧華頂宮廷を借りて撮影されている。しかし、3日間しか借りることができなかったため、大沢編の数100点に及ぶカットはすべて3日間で撮影されたい。



↑屋外の写真には渋谷のセルリアンタワーを合成したのも。



渋谷GIGO

カナンとの約束で亜智とひとみが訪れたり、御法川が雑貨店の店長・安田にインタビューした場所。この「渋谷GIGO」は実在のアミューズメント施設で、ゲームやブリクラを楽しめるほか、なんとカジノがプレイできるフロアも!

ACCESS

道玄坂にあるゲームセンター

道玄坂2丁目にあるビルで、映画館渋谷シネタワーの隣にある。営業時間は10時から24時(金・土・休前日は25時まで)となっている。



↑本編の発売イベントは、この「渋谷GIGO」で行われた。そのときは、総監督であるインシシロウ氏もお店に駆けつけ、ファンと交流した。



↑プリントシールフロアでは、メイド服などのコスプレ衣装も貸し出している。また、クレープやばくだん焼といった飲食販売が行われているのもうれしいところ。



スピノフアニメ **CANAAN** に注目!

『428』の事件から2年後、華やかさと猥雑さが交じり合う魔都・上海を舞台に少女・カナンとの戦いを描くTVアニメが絶賛放映中! 主役のカナンはもちろん、彼女のライバルであるアルファルド、ライター、御法川、カナンの友だち・マリアなど、『428』のキャラクターが多数登場。ファンは絶対に見逃せない内容になっている!

- 【放送局】
 - ・TOKYO MX 土曜 22:30 - 23:00
 - ・テレ玉 土曜 24:30 - 25:00
 - ・チバテレビ 月曜 26:10 - 26:40
 - ・tvk 火曜 25:45 - 26:15
 - ・関西テレビ 火曜 26:05 - 26:35
 - ・東海テレビ 木曜 27:35 - 28:05
 - ・AT-X 火曜 11:30 - 12:00
- 【スタッフ】
 - ・原作: チュンソフト「428〜封鎖された渋谷で〜」
 - ・原案: 奈須きのこ
 - ・キャラクター原案: 武内崇
 - ・シリーズ構成: 岡田麿里
 - ・キャラクターデザイン・総作画監督: 関口可奈味
 - ・美術監督: 脇威志
 - ・色彩設計: 井上佳津枝
 - ・撮影監督: 並木智
 - ・音響監督: 明田川仁
 - ・音楽: 七瀬光
 - ・プロデューサー: 大島靖、イシジロウ、斎藤滋、川村仁、堀川憲司、福良啓
 - ・アニメーション制作: ビーエーワークス
 - ・監督: 安藤真裕
 - ・製作: Project CANAAN



息をもつかせぬアクションシーンの数々は圧巻のひとこと!!



アクションに定評のある安藤真裕氏が監督を務めている本アニメ。ダイナミックに動き回るキャラクターたちが繰り広げる、激しきバトルシーンは一見の価値アリだ!



カナン
カナンの親友の脳天気な見習いカメラマン
三流ゴシップ雑誌「ヘブン出版」の駆け出しカメラマンにして、カナンの親友。明るく脳天気な性格。御法川と一緒にオバカ企画の取材のために上海を訪れ、カナンと再会する。

「蛇」の対抗組織に所属する闘争代行人
犯罪組織「蛇」の対抗組織に所属する闘争代行人。五感を同時に機能させる「共感覚者」の持ち主であり、その能力を使って豹のようなしなやかな動きで敵を倒していく。



大沢マリア

Point 1
Blu-ray&DVDの第1巻がいよいよ10月21日に発売!!
本作のBlu-ray&DVDが10月21日より順次発売! BD版、DVD版のどちらも、ジャケットはキャラクターデザインを担当した関口可奈味による描き下ろしとなり、8ページのリーフレットが同梱される。ぜひゲットしよう。

Blu-ray	DVD
・片面1層 ・本編約48分 ・日本語 (5.1ch) ・日本語 (ステレオ) ・¥7,140	・本編約48分 ・日本語 (ドルビーデジタルステレオ) ・¥6,090

Point 2
劇場版の公開も決定!
TVアニメ全13話を全3部構成にした劇場版が2009年10月より順次公開されることが判明! スクリーンによる大画面映像と5.1chサラウンドの音楽に彩られた新たな「CANAAN」の世界に、今から期待が高まっちゃう!?

INTERVIEW

本企画の最後は、総監督のイシイジロウ氏とボーナスシナリオ・カナン編を手がけた武内崇氏&奈須きのこ氏の豪華対談の模様をお届け！ 三者三様の熱いクリエイティブ論が行き交う内容に、ぜひ活目して読んでもらいたい!!

『Fate/stay night』の演出に魅入られ TYPE-MOONとの共同作業を決意!

——ボーナスシナリオにTYPE-MOONさんが参加されたきっかけはなんだったのでしょうか?

武内崇氏 (以下、武内。敬称略) : 『428』の企画があるという話自体は早くからお聞きしていました。

イシイジロウ (以下、イシイ。敬称略) : お会いしたのは『金八先生』のマスターアップの頃でした。武内さんより『Fate/stay night』を頂いてプレイし感銘を受けて、“どうしてこういうモノが作れるようになったのか”とか、“どうしてここに行き着いたのか”ということをお聞きしました。

奈須きのこ氏 (以下、奈須。敬称略) : イシイさんが評価してくれた最大のポイントは、画面演出の作り方だったと思います。Fateでは1枚の静止画を擬似的に動かす方法に特化していて、その方法論に関心を持ったイシイさんが“自分たちとは違った方向で育った人たちがいる”ということで、興味を向けてくれたんです。——それで一緒に仕事をすることになったと。

奈須 : はい。ただ、最初にお会いしたときは僕らも『Fate』のファンディスクを作っていたので、スケジュール的に難しかったんです。そこで「それが終わった頃にまだ自分たちが手伝える枠があるなら、ぜひお力を

貸したい」ということでお話をいただいたのが、『428』のボーナスシナリオ「カナン編」だったんです。

——では、もしもタイミングが違ったら、『金八先生』や『忌火起草』のボーナスシナリオをTYPE-MOONさんが作っていたということもあったのでしょうか?

イシイ : うーん。そうかもしれませんが、『Fate』のファンディスクは出なくなっていたかも(笑)。

奈須 : でも、ホラーサウンドノベルの新作(=忌火起草)を作っているという話を聞いたときは、悔しかったです。時間があるならゲストシナリオを書きたいと思ったほどです。

——『428』のゲストシナリオですが、イシイさんは本編がどの程度完成したときをお願いしたのでしょうか。

イシイ : シナリオは全部できていたね。僕らが実写の準備に取り掛かるタイミングでお願いしました。

奈須 : 「このカナンというキャラクターを好きに使ってください」というかたちでお願いされました。本編ができ上がっている以上はそこに物語を付け加えてもいいことはないと思い、本筋とは1本外れた枠のシナリオを、僕の芸風で味つけして書かせていただきました。

武内 : カナン編では何をすべきかということは提示されていたのですが、そのなかで我々が手がける以上は、自分たちらしさを出そうと心がけました。

——イシイさんがTYPE-MOONさんにカナン編のシナリオをお願いした理由というのは?

イシイ : カナン編では、“テロ”や“中東の работник”というキーワードが出てくるのですが、それを本編の実写のなかに入れると生臭いだけになってしまうんです。それを奈須さんの世界で書いてもらうことで“ファンタジーでの救い”を得たかったです。戦争とか報復とか憎しみの連鎖といったものをファンタジーで描いて、最後は希望が持てる結末に落とし込みたい……。そういう想いからTYPE-MOONさんにシナリオをお願いしました。

——なるほど。では逆にTYPE-MOONさんから見て、本編シナリオの印象はいかがでしたか?

奈須 : サウンドノベル『街』の活用形としながらドラマ『24』でもあったか。『街』が5日間のゲームであったのに対して、『428』は1日のゲームなので、ひたすらスピーディーに、ジェットコースターのように進むという印象がありました。画面も実写で、リアリティがあると同時に迫力がありました。

武内 : 確かに非常にテンポのいいゲームでしたね。個人的には『忌火起草』が難しかったので、難易度が下がったのはうれしかったです。あと、「これはこういうゲームだよ」とわかりやすく説明するという意味で、

「24」のモノマネ芸人さんをCMに起用すればよかったのに、とイシイさんに助言しました(笑)。

奈須 : 「これはゲームの「24」だー!!!!!!」と。

武内 : あと、これは僕個人の意見ですが、中盤のコメディ展開と後半のシリアスな展開でゲームが違う印象をちょっと受けました。全部ミステリーにしたほうがテーマ的にはわかりやすかったのではないかなあと。

奈須 : うーん。そこは『街』の呪縛から抜け切れていない部分もあったのではないのでしょうか。“コメディ”と“緊迫”と“よくわからない世界”という3つの世界観が合わさったのが『街』でしたが、『428』も複数の世界観で構成されていますよね。

イシイ : そこには狙いが合って、最初はわざとテーマを提示していないんです。5人の主人公を設けて、それぞれのテーマをバラバラにすることで、“わざとテーマを見せない”というテーマになっているんです。

——群像劇に見せかけることで本筋から目を遠ざかせたわけですね。

まだイメージが固まっていない 役者を選んでキャストイング

——本作のキャストイングはどのように決められたのですか?

イシイ : まず前提として、テレビとか映画ではありえない、ゲームならではの個性的なキャストイングをしようというところが根本にありました。亜智はとくにそうですね。彼の持つカリスマ性を表現するために、彫りが深いハーフの中村さんを起用しました。**奈須 :** 自分は本作のシナリオを読んだとき、亜智の人物像だけ浮いて見えたんです。彼だけヒロイックすぎるなど。実際、どうなるのかなと思



『428』は“動”ではなく“静”の演出で サウンドノベルの進化を見せてくれました【奈須】

っていたのですが、ハーフという外見が亜智というキャラクターにバッチリ合っていたんですね。画面を見て、これは完璧だと思いました。

——では、次に加納についてお聞かせください。

イシイ : 加納役の天野さんは、ほとんど奈須さんが決めたようなものなんですよ。

奈須 : え!? そうでしたっけ?
イシイ : 当時、奈須さんが「橘さん、橘さん!」と盛り上がっていらっやっして……。

奈須 : あの1人ではしゃいでいたのが決め手になっていただなんて……。今、初めて知りました。

イシイ : ボクはブログで書いてたんですけどね。「某氏が加納役の天野さんを～」と。

奈須 : あの某氏って俺だったんだ……。
イシイ : すいません(笑)。でも悩んでいたところでもあったんですけどね。加納はプレイヤーを投影したキャラクターなのに、天野さんが過去に演じられた仮面ライダーのイメージが付き過ぎないかなと。

——それでは、最後にファンに向けてひと言ずつお願いいたします。

武内 : いろいろなご縁が重なって、

『428』プロジェクトの外伝という部分でTYPE-MOONが携わせてもらいました。その携わったものがアニメーションという新しい形で走り出していくなか、その元となったものが1番理想的な形でゲームになったことは非常にうれしく思います。特典も満載ということで、ぜひ遊んでみてください。

奈須 : 現状のサウンドノベルの最高峰を、次の最高峰が来る前にぜひ体験してほしいと思います。僕は『かまいたちの夜2』をプレイしたとき、これ以上のものはないと思ったんです。サウンドノベルというフォーマットでこれだけお金をかけ、こんなにいいものに作ったものはないと。しかし、『428』は『かまいたちの夜2』とは違う方法論の、“動”ではなく“静”の演出で、サウンドノベルの新たな進化を見せてくれました。文字を読むゲームが好きなのは、ぜひ遊んでほしいですね。

イシイ : 本作はライトユーザーでも対応できるよう作っていますが、じつはすごくゲームファン向けのゲームだと思っています。ぜひ、最後までやり込んでみてください。

——ありがとうございました。

総監督 イシイジロウ [jiro ishii]

『428 ~封鎖された渋谷で~』総監督。代表作はPS2の『3年B組金八先生 伝説の教壇に立て!』ほか。次回作はニンテンドーDSの『極限脱出9時間9人9の扉』。

カナン編キャラクターデザイン 武内崇 [takashi takeuchi]

PCゲームブランドTYPE-MOONの代表にして、有限会社ノーツ代表取締役。代表作は『Fate/stay night』ほか。本作のカナン編では、キャラクターデザインを担当。

カナン編シナリオ 奈須きのこ [kinoko nasu]

TYPE-MOON所属のシナリオライターで、武内氏とは中学時代からの友人同士。講談社BOX『DDD』シリーズなどで小説家としても活躍中。カナン編シナリオを担当。



STAFF

[art director & design] blue

[editors] 宮崎洋平 / 片山和哉 / 電撃PlayStation編集部

[writers] 川地誠

[general editor] 吉田健太郎 / 本多昇

[special thanks]

株式会社スパイク

株式会社チュンソフト

TYPE-MOON (有限会社ノーツ)

エモーション

※敬称略

©2008/2009 CHUNSOFT

※ 「サウンドノベル」はチュンソフトの登録商標です。